

# 令和2年度～5年度使用 小学校用教科用図書採択理由書

宮崎大学教育学部附属小学校

教科用図書名 【 保健 】  
発行者名 【 学研 】  
教科書名 【 みんなの保健 】

<b>観点1 教科目標の達成及び単元の構成・配列等</b>
<p>(1) 健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を実践的に理解することができるよう、「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・ふかめる」等、グループでの活動や体験的に学ぶ活動が随所に位置付けられている。</p> <p>心身の健康の保持増進に必要な資質や能力の基礎を培うことができるよう、ほとんどの学習活動において日常生活や児童自身との関連が図られているほか、自分の生活を見直す参考となるコメントが示されるなど、身近な生活における学習課題を発見したり解決したりできるように工夫されている。</p> <p>(2) 構成について、「もっと知りたい調べたい」の学習を位置付けるなど、現代的な健康課題について学習を深めさせるための工夫が随所に見られる。</p>
<b>観点2 内容や指導の充実</b>
<p>(1) 活用・探究の学習活動を展開するために、全ての小単元の終わりに、学習したことを生かし、話し合いや記述、発表させる「生活につなげる」を位置付け、思考力や判断力、表現力を育むような工夫が見られる。</p> <p>(2) 言語活動の充実を図るために、「生活につなげる」を位置付け、話し合いや記述などを通して、書く力やコミュニケーション能力を高めるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 個に応じた指導を展開するために、学習内容を広げたり、深めたりする「もっと知りたい・調べたい」を単元の随所に設けている。</p>
<b>観点3 利便性の向上</b>
<p>(1) 特筆すべき点として、科学的な資料を取り上げたり、全国の実例が写真で紹介されたりすることで、児童の興味・関心を高められる工夫がなされている。</p>
<b>観点4 地域の教育の特色や児童の実態等</b>
<p>(1) 教材として紹介されている、例えば、給食の容器が本校のそれに似ていること、また自然災害に関して、火山噴火の例として新燃岳が紹介されていること。</p> <p>以上のことから、子どもが身近に感じ、興味・関心をもって学習を進めることが期待できる。</p>